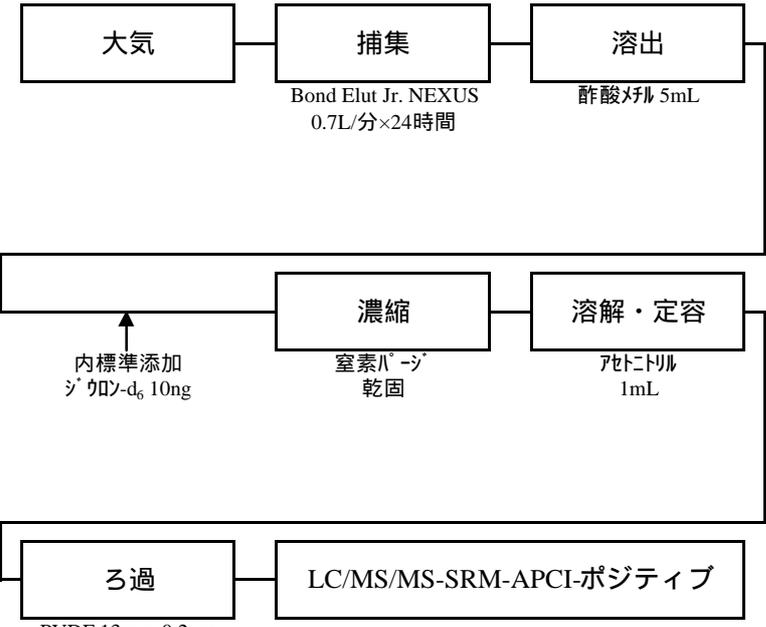


調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[8]2-エチルアミノ-4-イソプロピルアミノ-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン（別名：アメトリン）</p> <p>[21] [1α(S[*]),3α]-(\pm)-シアノ(3-フェノキシフェニル)メチル=3-(2,2-ジクロロエチル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシレート（別名：α-シペルメトリン）</p> <p>[35]チオリン酸 O,O-ジエチル-O-2-キノキサリニル（別名：キナルホス）</p> <p>[37]2,3,5,6-テトラフルオロ-4-メチルベンジル=(Z)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロ-1-プロペニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシレート（別名：テフルトリン）</p> <p>[44]2-(4-ブロモジフルオロメトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル（別名：ハルフェンプロックス）</p> <p>[52]メチル=2-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルオキシ)-6-[1-(メトキシイミノ)エチル]ベンゾアート（別名：ピリミノバックメチル）</p>	<p>【水質】</p> <p>[52]については、以下の方法により固相抽出後GC/MS-SIM-EIにて詳細環境調査対象物質[11]及び[30]と同時分析された例があった。</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】（ng/L） [8] 3.2 [21] 10 [35] 8 [37] 8 [44] 13 [52] 17 は異性体ごとの検出下限値の合計とした。</p> <p>分析条件： 機器 GC：HP5890 II又はHP6890 MS：JMS-AM II 50 カラム Agilent Ultra 2 25m×0.2mm、0.33μm</p>
「平成17年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠		

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[15] 2-(4-クロロ-6-エチルアミノ-1,3,5-トリアジン-2-イル)アミノ-2-メチルプロピオニトリル (別名: シアナジン)</p> <p>[52] メチル=2-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルオキシ)-6-[1-(メトキシミノ)エチル]ベンゾート (別名: ピリミノバックメチル)</p> <p>[56] リン酸(Z)-2-クロロ-1-(2,4,5-トリクロロフェニル)ビニル=ジメチル (別名: テトラクロロルピンホス又はCVMP)</p>	<p style="text-align: center;">【大気】</p>  <p style="text-align: center;">「平成17年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理: LC/MS/MS-SRM-APCI-ポジティブ</p> <p>検出下限値: 【大気】 (ng/m³) [15] 0.4 [52] 1.0 [56] 0.4 は異性体ごとの検出下限値の合計とした。</p> <p>分析条件: 機器 LC: Shimadzu Prominence System MS: API3200 カラム L-column ODS 150mm×2.1mm、5μm</p>